

公定歩合引下げに関する政策委員会議長談

(昭和52年3月11日)

最近の経済情勢をみると、景気回復の足取りは昨秋来かなり緩慢なものとなっており、年明け後も、国内需要が伸び悩み企業の先行き景況感にも明るさがうかがわれない状態が続いている。この間、物価面では卸売物価が落ち着き基調を維持しており、一方国際収支面でも経常収支がなおかなりの黒字を示している。

こうした情勢にかんがみ、日本銀行は景気により着実な回復に資するため、この際公定歩合を0.5%引下げることが適当と判断し、3月12日から実施することとした。

もちろん、物価の安定確保が引続き重要な課題であることに変わりはなく、今後とも物価の動向には十分の注目を払っていく考えである。

日本銀行基準割引歩合および貸付利子歩合の変更

(昭和52年3月12日実施)

- | | | |
|---|--------|-----------|
| 1. 商業手形割引歩合ならびに国債、
特に指定する債券または商業手形
に準ずる手形を担保とする貸付利
子歩合 | 年6.0% | (0.5%引下げ) |
| 2. その他のものを担保とする貸付利
子歩合 | 年6.25% | (0.5%引下げ) |